

まつ 松潟の大地蔵はなぜ汗をかくの？

■ 汗をかくと何かが起こる

松潟集落の南側に鉄相寺てつそうじというお寺があります。その寺の入り口に、赤い着物を着た大きな地蔵がどっしりとした様子で安置されています。

地元では、「汗かき地蔵」「身替わり地蔵」とも呼ばれています。これは、「大地蔵が汗をかくときは、世の中（とくに松潟集落）の人々の身のまわりに、何か事故が起こる」と信じられているからです。

■ 新潟地震の前に汗をかいた！

1964（昭和39）年6月16日、粟島沖を震源とする震度5、マグニチュード7.5の地震が起きました。新潟地震です。市内のいたるところに大きな被害が出ました。



鉄相寺の汗かき地蔵

その数日前、この大地蔵は、全身に汗をかいていたそうです。晴天で、雨に濡れたわけでもないのに、赤い着物まで濡れていて、おかしいことだと松潟の人々は思ったそうです。

しかし、現実には地震が起きると、人々は、汗をかいて異変を知らせてくれた大地蔵の不思議な力を改めて感じ、ますます信仰を深めたそうです。

■ 台座の下からお経を書いた石、発見

1988（昭和63）年、大地蔵の安置されているお堂を改築しました。そのときに台座の下から、お経を書き写した「写経石きょうせき」といわれる石が何百個も出土しました。

石の大きさはさまざまですが、どれも表面がつるつるとしていて、そこに墨でお経が書いてありました。そのうちの1つには「天保14年（1843年）」の年号が記されていました。

なぜ、こんなに多くの写経石が埋められたのかはわかりませんが、石を拾い集めてお経を書いた人は、この大地蔵にいろいろな願いを込めて、台座の下に写経石を埋めたのでしよう。

区内では、ほかに、1974（昭和49）年に鳥屋とやの寸苗庵すんびょうあんからも写経石が出土しています。



写経石